

人権に関する市民意識調査報告書

概要版

平成29年3月

相模原市

人権に関する市民意識調査報告書（概要版）

目 次

調査概要	1
・回答者の属性	2
・調査結果	3
1. 人権全般についての考えや意識について	3
1) 人権全般に対する社会認識	3
2) 人権に関する相談機関の認知度	5
3) 人権に関する言葉の認知度	6
4) 人権を侵害された経験とその対応	7
5) 人権を侵害してしまったと思った経験	9
6) 人権問題への関心	10
7) 今の日本社会における人権尊重の認識	11
2. 女性の人権について	12
1) 女性の人権に関する問題点	12
2) 女性の人権を守るために必要なこと	12
3. 子どもの人権について	13
1) 子どもの人権に関する問題点	13
2) 子どもの人権を守るために必要なこと	13
3) 相模原市子どもの権利条例の認知度	14
4. 高齢者の人権について	15
1) 高齢者の人権に関する問題点	15
2) 高齢者の人権を守るために必要なこと	15
5. 障害のある人の人権について	16
1) 障害のある人の人権に関する問題点	16
2) 障害のある人の人権を守るために必要なこと	17
6. 同和問題（部落差別）について	18
1) 同和問題（部落差別）の認知度	18
2) 同和問題（部落差別）を知ったきっかけ	18
3) 同和問題（部落差別）に対する認識	19
7. 外国人の人権について	20
1) 外国人の人権に関する問題点	20
2) 外国人の人権を守るために必要なこと	20
8. 性的少数者の人権について	21
1) 性的少数者の人権に関する問題点	21
2) 性的少数者の人権を守るために必要なこと	21
3) 性的少数者の存在	22
9. エイズ患者やHIV感染者の人権について	22
10. 働く人の人権について	23
11. 刑を終えて出所した人の人権について	23
12. 犯罪被害者等の人権について	24
13. ハンセン病患者や回復者の人権について	24
14. 人身取引に関する人権問題について	25
15. ホームレスの人権について	25
16. アイヌの人々の人権について	26
17. インターネットを利用した人権問題について	26
18. 災害に起因する人権問題について	27
19. 北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について	28
20. 人権課題の解決に向けた方策について	29
1) 効果的な人権課題解決に向けた方策	29
2) 市の啓発事業の認知度	29
3) 今後市が力を入れていけばよいこと	30
4) 人権が尊重される社会の実現に向けて必要なこと	30

人権に関する市民意識調査報告書（概要版）

調査概要

調査の目的	市民の人権に関する意識、考え方等を統計的手法によつて的確に把握し、今後の人権施策をより効果的に進めるための基礎資料とする。
調査対象	相模原市に在住する20歳以上の男女個人(外国人を含む) 3,000人
抽出方法	住民基本台帳からの等間隔系統抽出
調査方法	郵送によるアンケート方式
回収率	48.1%
調査期間	平成28年12月1日～12月15日

集計結果の見方

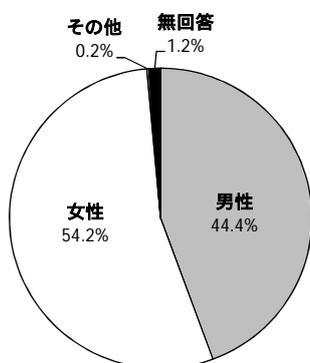
- ・回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・数値はそれぞれ割合（%）を表示。

クロス集計表の見方

- 濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第1位の項目については濃いグレーで塗りつぶし、数値を太字で表示している。
- 薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、特徴的な項目（全体の数値と比べて概ね10ポイント以上数値が高い項目）については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

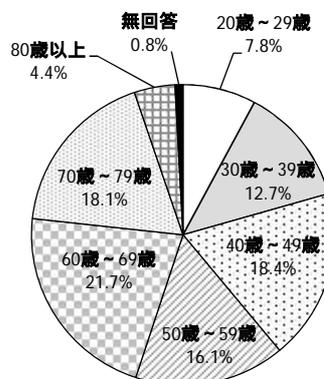
・回答者の属性

性別



n=1,444

年齢



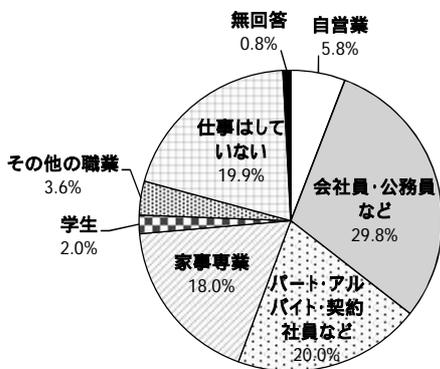
n=1,444

就労者（59.2%）、インターネット利用者（65.9%）

「よく利用している」+「ときどき利用している」

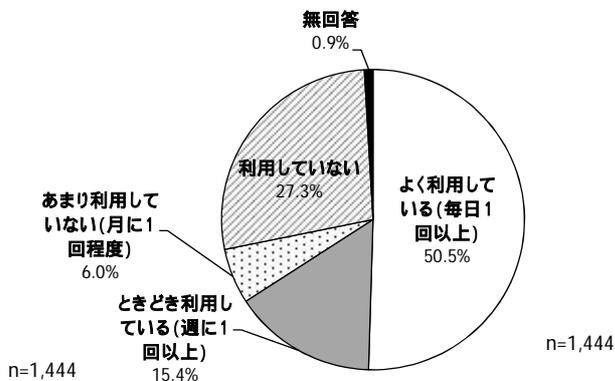
インターネットの利用目的は、「ホームページの閲覧」が最も多い（82.3%）

職業



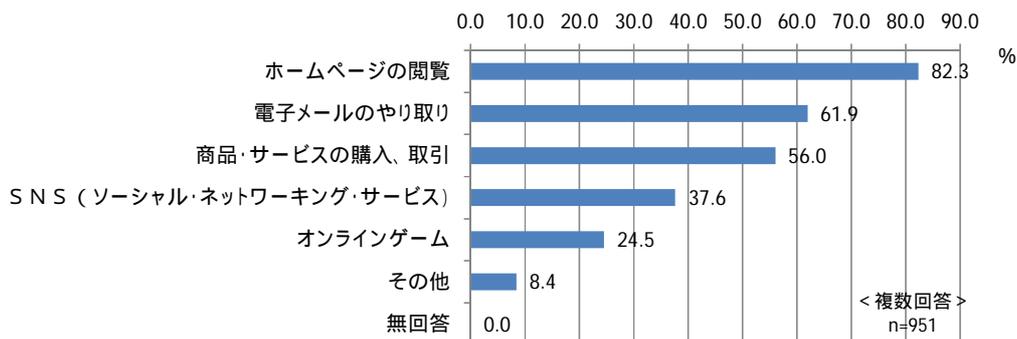
n=1,444

インターネット利用



n=1,444

インターネット利用の目的



調査結果

1. 人権全般についての考えや意識について

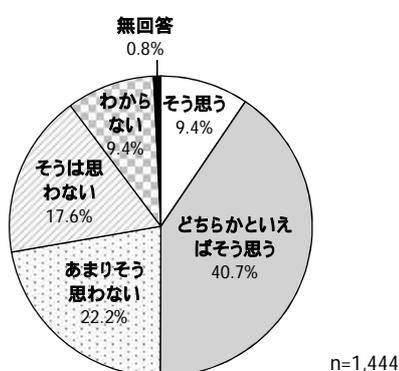
1) 人権全般に対する社会認識

問1 あなたは、今の日本は、一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思いますか。

(は1つ)

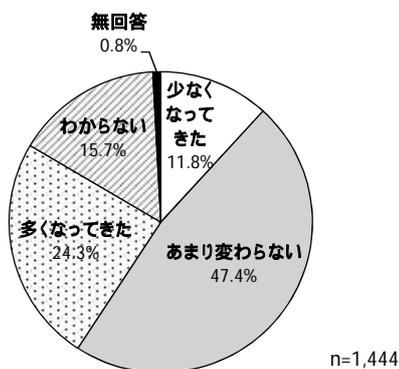
一人ひとりの人権が尊重されている社会だと思っている人は約半数(50.1%)

「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」



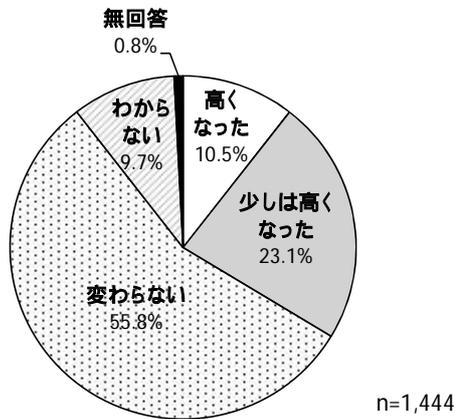
問2 あなたは、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、次第に少なくなってきたと思いますか、あまり変わらないと思いますか、それとも次第に多くなってきたと思いますか。(は1つ)

「あまり変わらない」が約半数(47.4%)を占め、「多くなってきた」(24.3%)が「少なくなってきた」(11.8%)を上回っている。



問3 あなた自身の人権意識は、5年前に比べ高くなったと思いますか。(は1つ)

自身の人権意識が5年前に比べ「高くなった」と思っている人は約3割(33.6%)
 変わらないとする人が約6割(55.8%) 「高くなった」+「少しは高くなった」

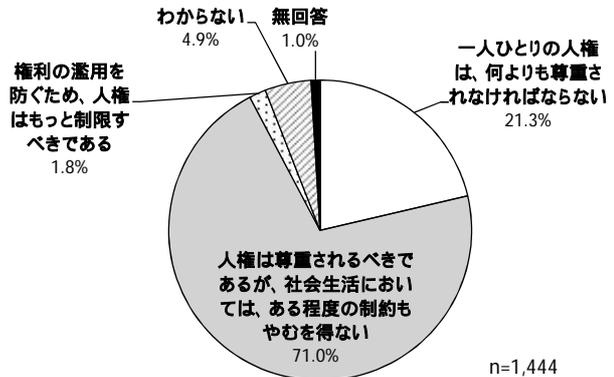
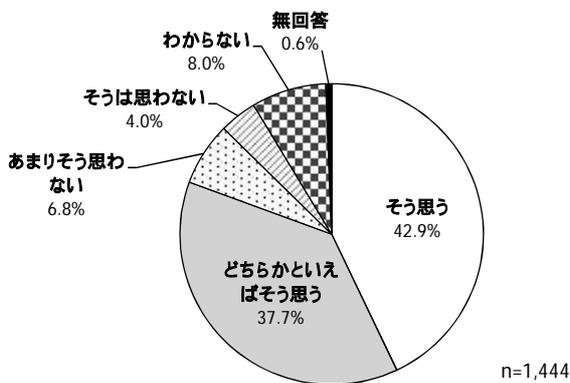


問4 「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたはどのように思いますか。(は1つ)

問5 あなたの「人権」に対する考えのうち、もっとも近いものは次のうちどれですか。(は1つ)

「権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」と考えている人は約8割(80.6%)
 「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」

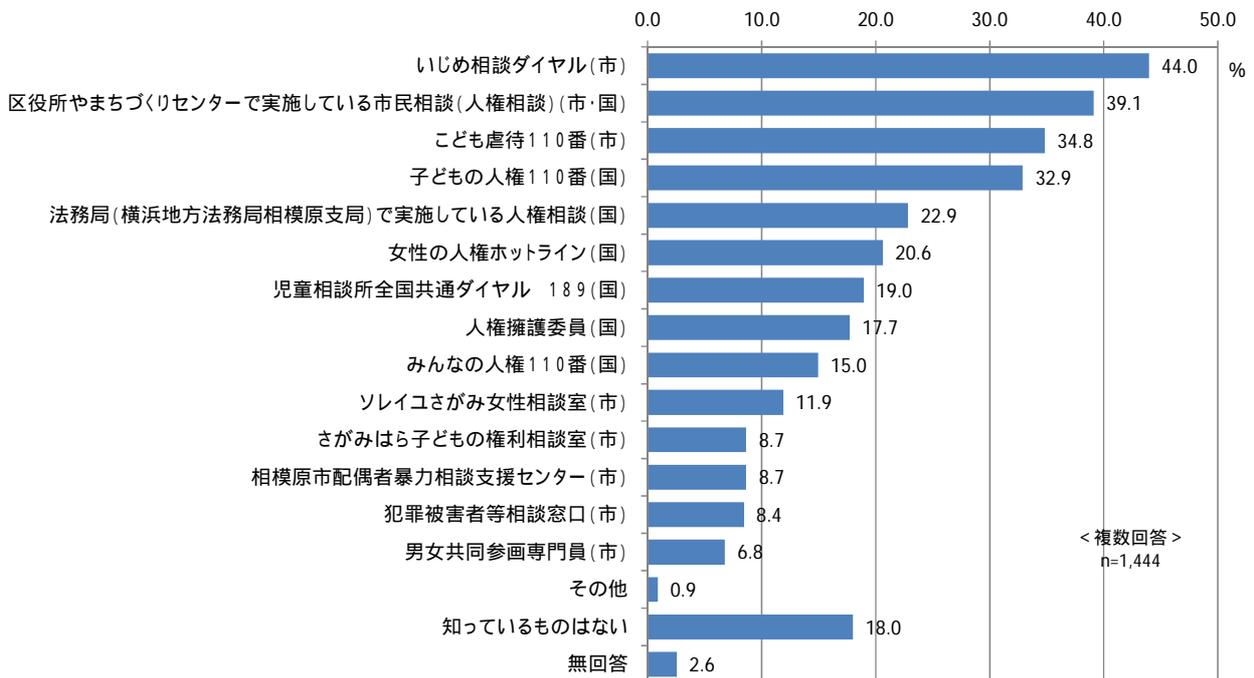
「人権は尊重されるべきであるが、社会生活においては、ある程度の制約もやむを得ない」が約7割(71.0%)



2) 人権に関する相談機関の認知度

問6 次の人権に関する相談先のうち、あなたが知っているものはありますか。相談経験の有無は問いません。(カッコ内は実施主体等)(あてはまるものすべてに)

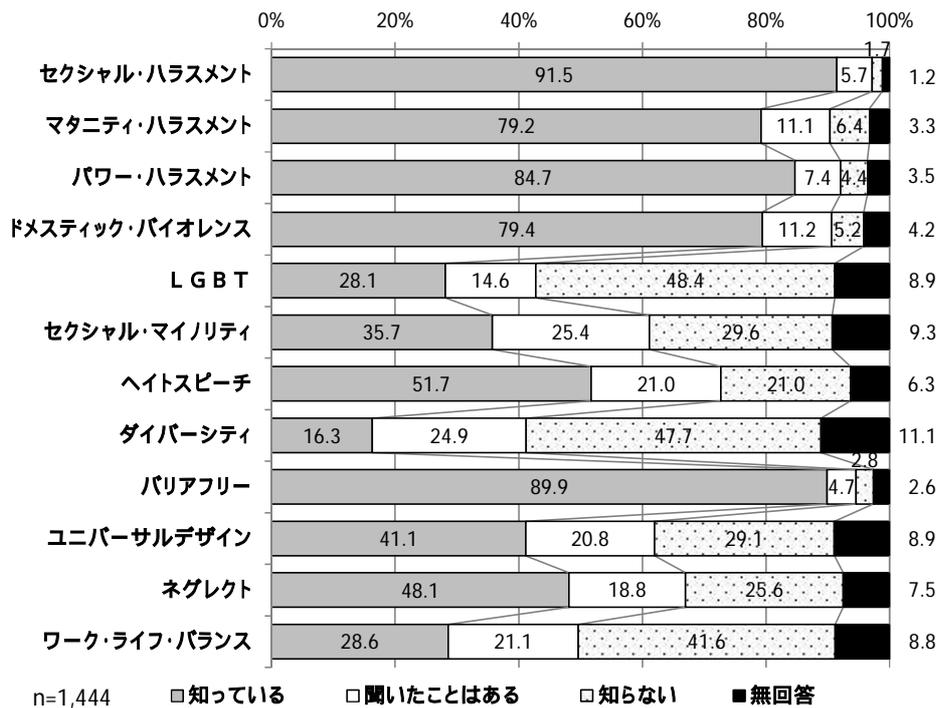
人権に関する相談先のうち、「いじめ相談ダイヤル(市)」(44.0%)、「区役所やまちづくりセンターで実施している市民相談(人権相談)(市・国)」(39.1%)、「こども虐待110番(市)」(34.8%)、「子どもの人権110番(国)」(32.9%)は3割以上の方が認知している。「知っているものはない」は2割弱(18.0%)であり、約8割の人は人権に関する相談先を知っている。



3) 人権に関する言葉の認知度

問7 次の人権課題に関連する言葉のうち、あなたが知っているものはありますか。
(それぞれは1つ)

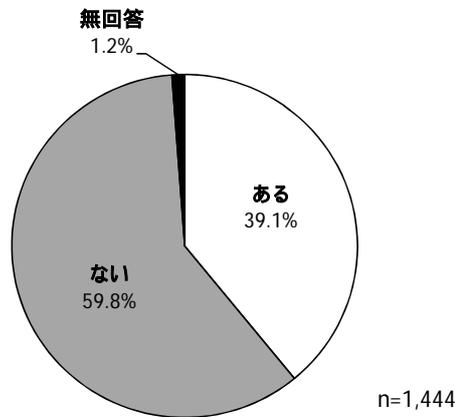
「セクシャル・ハラスメント」(91.5%)、「バリアフリー」(89.9%)、「パワー・ハラスメント」(84.7%)、「ドメスティック・バイオレンス」(79.4%)、「マタニティ・ハラスメント」(79.2%)については、約8割の人が知っている。



4) 人権を侵害された経験とその対応

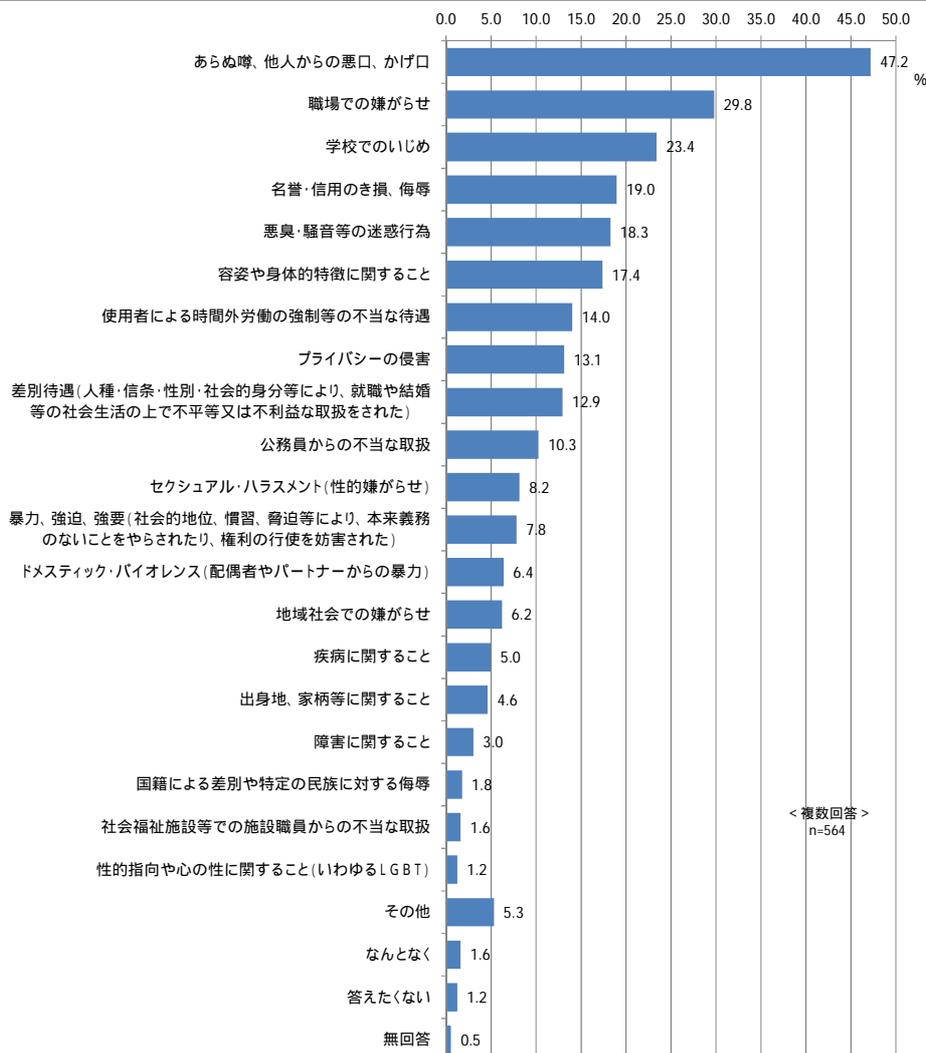
問8 あなたは、今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(は1つ)

今までに、自分の人権が侵害されたと思ったことがある人は約4割(39.1%)



問9 それは、次のうちどのようなものですか。

人権を侵害された内容では、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」が最も多く(47.2%)、次いで「職場での嫌がらせ」(29.8%)が多い。



問 10 自分の人権が侵害されたと思ったとき、どうしましたか。もし、自分の人権が侵害された場合、どうしますか。

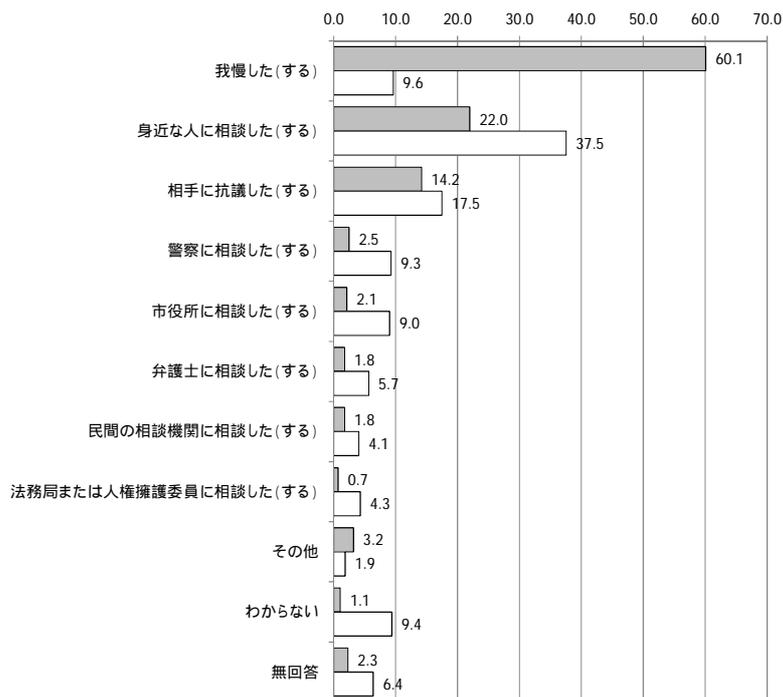
自分の人権が侵害されたと思ったときの対応は、

人権侵害を受けたことが「ある」人---「我慢した」が約6割（60.1%）と多く、

「身近な人に相談した」は約2割（22.0%）

人権侵害を受けたことが「ない」人---「身近な人に相談する」が約4割（37.5%）と多く、

「我慢する」は約1割（9.6%）



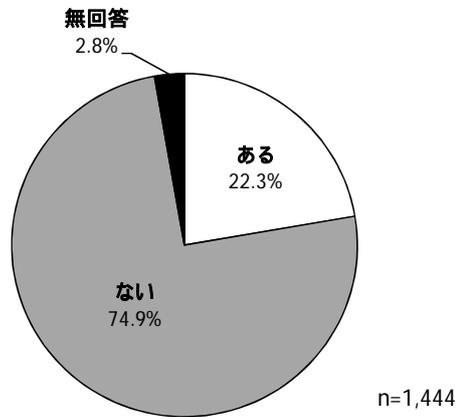
□ (人権が侵害されたと思ったことのある方) 自分の人権が侵害されたと思ったときの対応 (n=564)

□ (人権が侵害されたと思ったことのない方) もし、自分の人権が侵害された場合の対応 (n=863)

5) 人権を侵害してしまったと思った経験

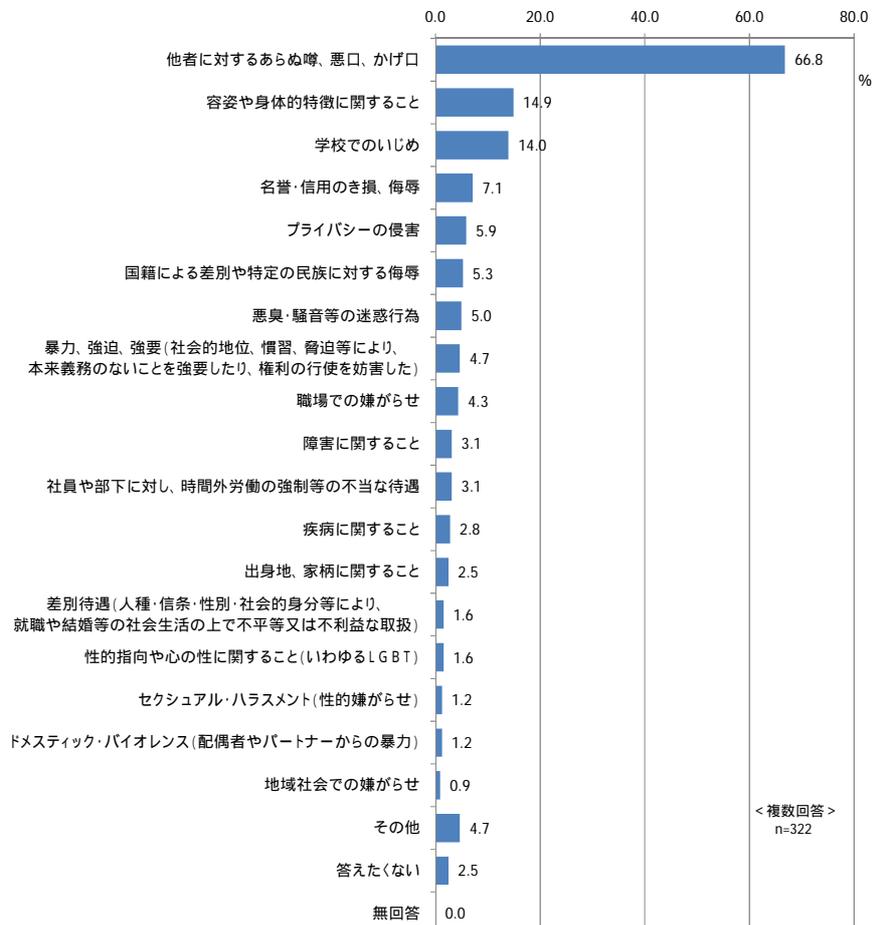
問 11 あなたはこれまでに、他人の人権を侵害してしまったと思うことがありますか。(は1つ)

他人の人権を侵害してしまったと思ったことがある人は約2割(22.3%)



問 12 それは、次のうちどのようなものですか。

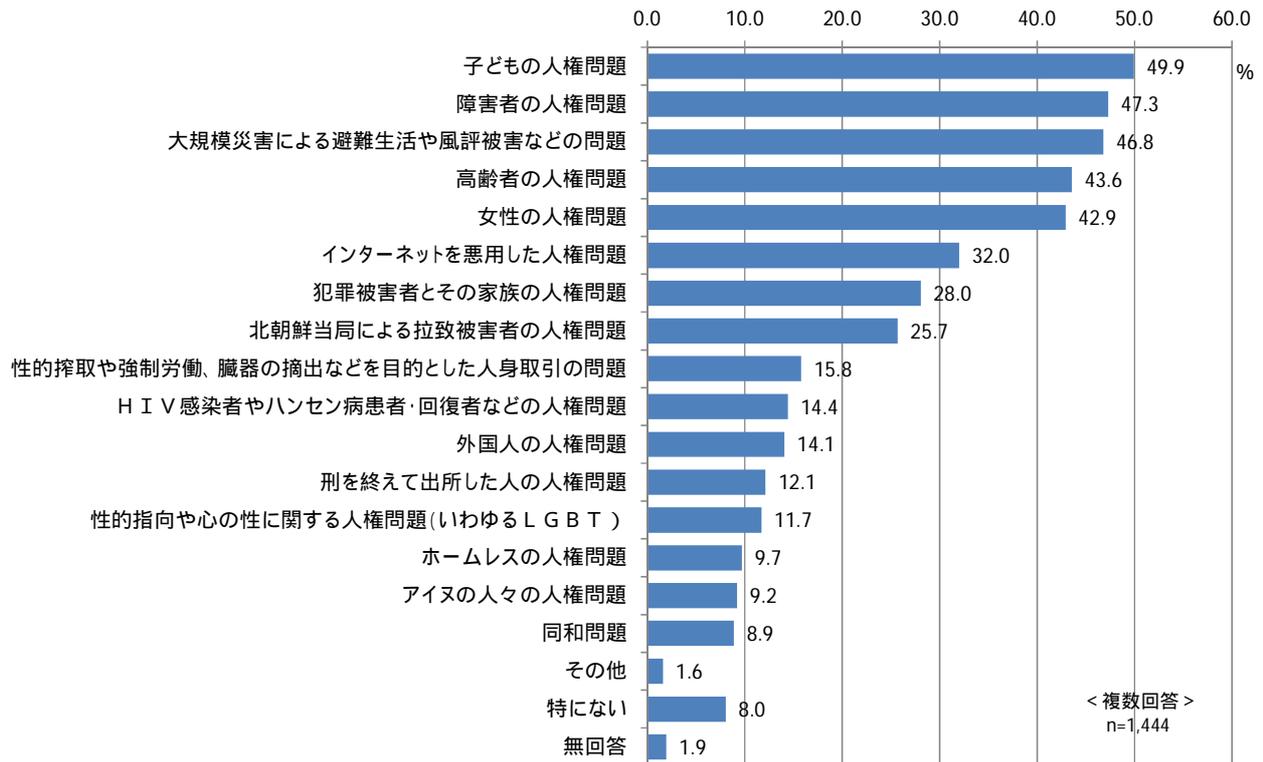
人権を侵害したと思う内容は、「他者に対するあらぬ噂、悪口、かげ口」が最も多く約7割(66.8%)



6) 人権問題への関心

問 13 あなたは、人権に関わるさまざまな問題のうち、どのような人権問題に関心がありますか。(あてはまるものすべてに)

上位は「子どもの人権問題」(49.9%)、「障害者の人権問題」(47.3%)、「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」(46.8%)、「高齢者の人権問題」(43.6%)、「女性の人権問題」(42.9%)



7) 今の日本社会における人権尊重の認識

問 14 あなたは、次の人権に関わるさまざまな問題について、今の日本の社会で、どの程度人権が尊重されていると思いますか。(それぞれ は1つ)

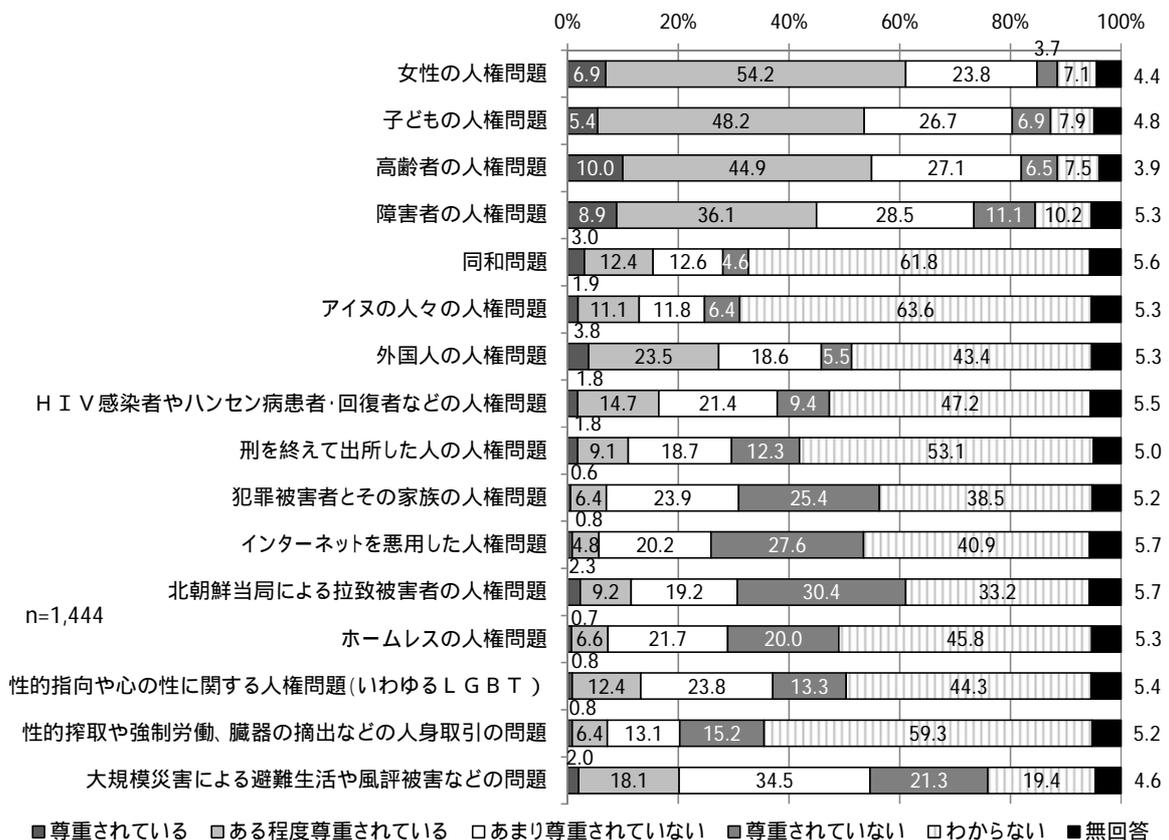
「尊重されている」割合が高いのは、「女性の人権問題」(61.1%)、「高齢者の人権問題」(54.9%)、「子どもの人権問題」(53.6%)、「障害者の人権問題」(45.0%)

「尊重されている」+「ある程度尊重されている」

そのほかの人権では「わからない」の割合が多い。

「尊重されていない」割合が高いのは、「大規模災害による避難生活や風評被害などの問題」(55.8%)、「北朝鮮当局による拉致被害者の人権問題」(49.6%)、「犯罪被害者とその家族の人権問題」(49.3%)、「インターネットを悪用した人権問題」(47.8%)、「ホームレスの人権問題」(41.7%)

「尊重されていない」+「あまり尊重されていない」



2. 女性の人権について

1) 女性の人権に関する問題点

問 15 あなたは、女性の人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。
(あてはまるものすべてに)

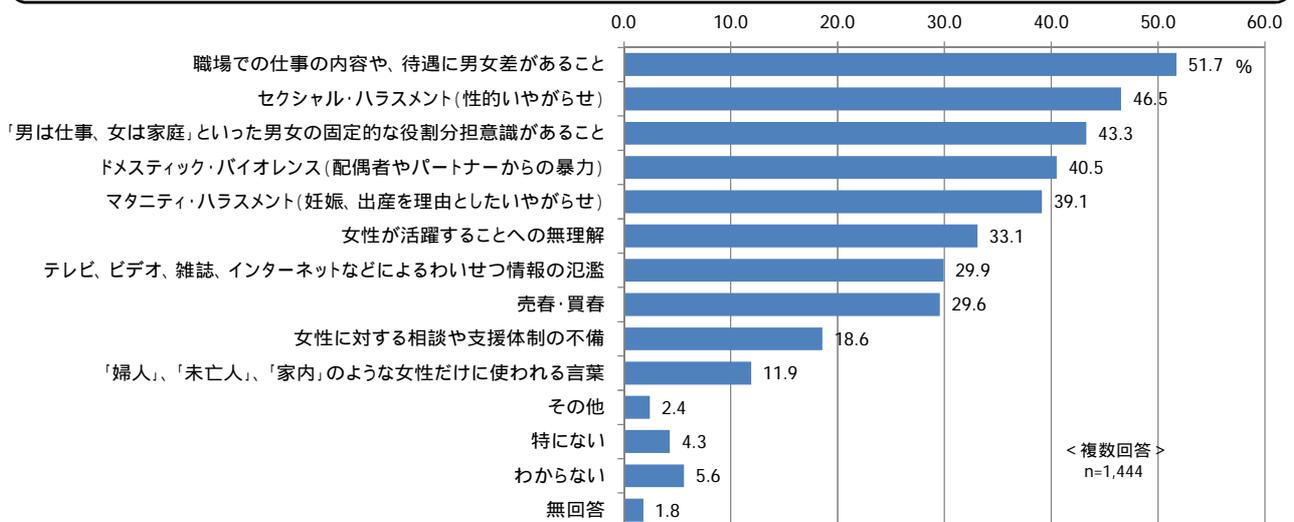
回答の多かった上位 (4割以上回答) は、

「職場での仕事の内容や、待遇に男女差があること」(51.7%)

「セクシャル・ハラスメント(性的いやがらせ)」(46.5%)

「男は仕事、女は家庭」といった男女の固定的な役割分担意識があること」(43.3%)

「ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)」(40.5%)



2) 女性の人権を守るために必要なこと

問 16 あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(は3つまで)

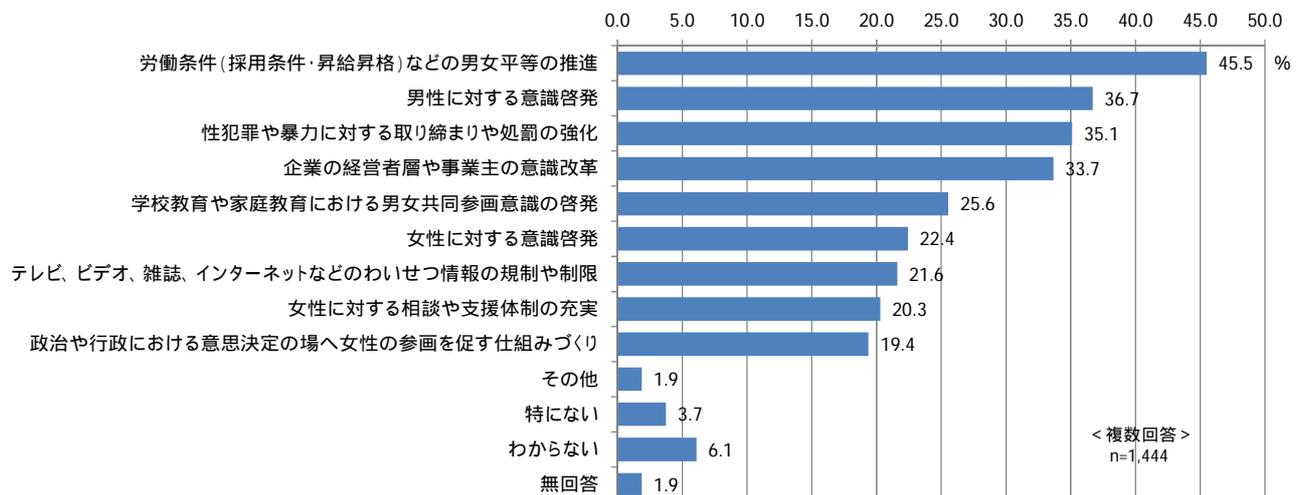
回答の多かった上位 (3割以上回答) は、

「労働条件(採用条件・昇給昇格)などの男女平等の推進」(45.5%)

「男性に対する意識啓発」(36.7%)

「性犯罪や暴力に対する取り締まりや処罰の強化」(35.1%)

「企業の経営者層や事業主の意識改革」(33.7%)



3. 子どもの人権について

1) 子どもの人権に関する問題点

問 17 あなたは、子どもの人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。

(あてはまるものすべてに)

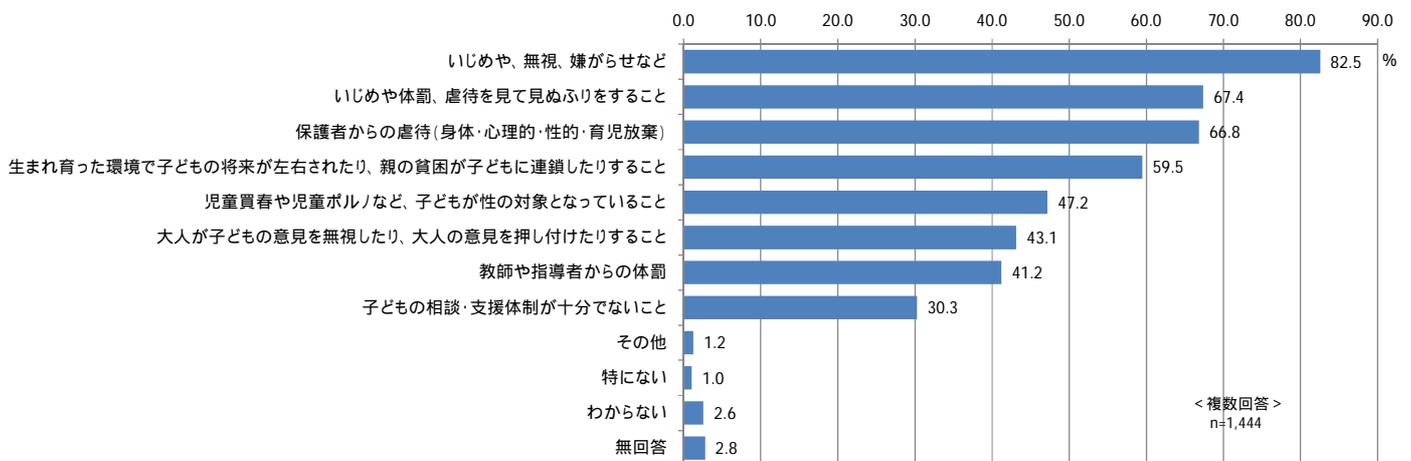
子どもの人権に関する問題としては、8割の人が「いじめや、無視、嫌がらせなど」(82.5%)を挙げている。

次いで、半数以上の人々が挙げているのは、

「いじめや体罰、虐待を見て見ぬふりをする事」(67.4%)

「保護者からの虐待(身体・心理的・性的・育児放棄)」(66.8%)

「生まれ育った環境で子どもの将来が左右されたり、親の貧困が子どもに連鎖したりすること」(59.5%)



2) 子どもの人権を守るために必要なこと

問 18 あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思えますか。

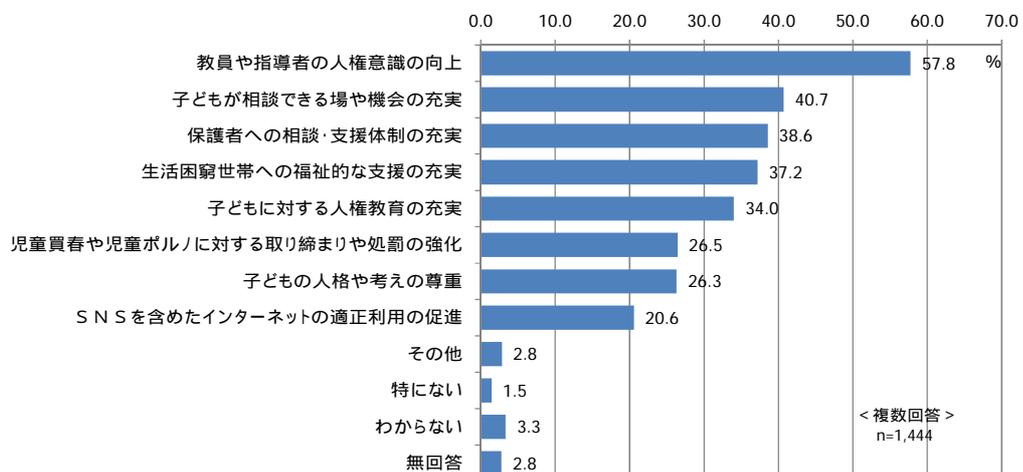
(は3つまで)

約6割の人が「教員や指導者の人権意識の向上」(57.8%)を挙げている。

次いで、3割以上の人々が挙げているのは、「子どもが相談できる場や機会の充実」(40.7%)、

「保護者への相談・支援体制の充実」(38.6%)、「生活困窮世帯への福祉的な支援の充実」

(37.2%)、「子どもに対する人権教育の充実」(34.0%)

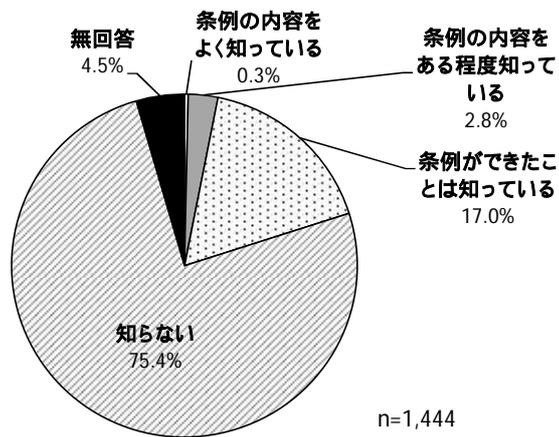


3) 相模原市子どもの権利条例の認知度

問 19 あなたは、相模原市子どもの権利条例(平成 27 年 4 月 1 日施行)を知っていますか。
(は 1 つ)

相模原市子どもの権利条例の認知度は 2 割 (20.1%)

「条例の内容をよく知っている」+「条例の内容をある程度知っている」+「条例ができたことは知っている」



4. 高齢者の人権について

1) 高齢者の人権に関する問題点

問 20 あなたは、高齢者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。

(あてはまるものすべてに)

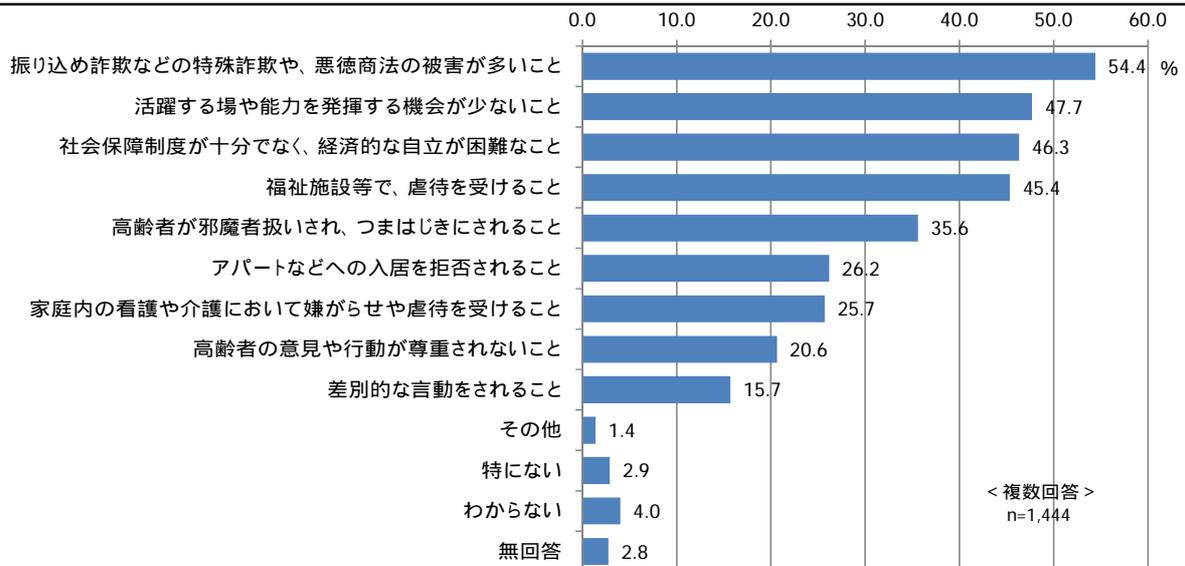
上位の4つ(4割以上回答)は、

「振り込め詐欺などの特殊詐欺や、悪徳商法の被害が多いこと」(54.4%)

「活躍する場や能力を発揮する機会が少ないこと」(47.7%)

「社会保障制度が十分でなく、経済的な自立が困難なこと」(46.3%)

「福祉施設等で、虐待を受けること」(45.4%)



2) 高齢者の人権を守るために必要なこと

問 21 あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思えますか。

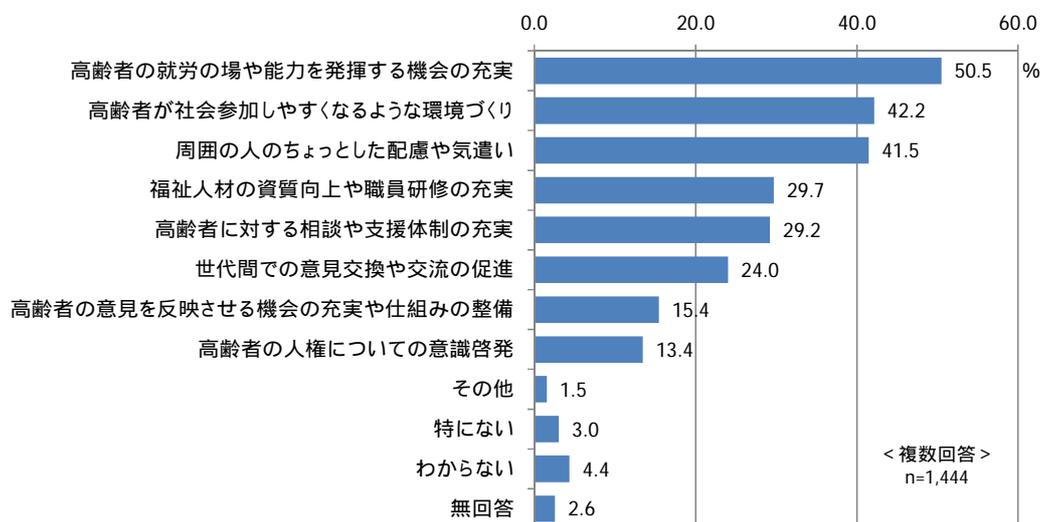
(は3つまで)

半数の人が「高齢者の就労の場や能力を発揮する機会の充実」(50.5%)を挙げている。

次いで、4割以上の人が挙げているのは、

「高齢者が社会参加しやすくなるような環境づくり」(42.2%)

「周囲の人のちょっとした配慮や気遣い」(41.5%)



5. 障害のある人の人権について

1) 障害のある人の人権に関する問題点

問22 あなたは、障害のある人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。

(あてはまるものすべてに)

半数以上の人々が、「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」(57.1%)、「障害の特性が十分に理解されていないこと」(52.6%)を挙げている。

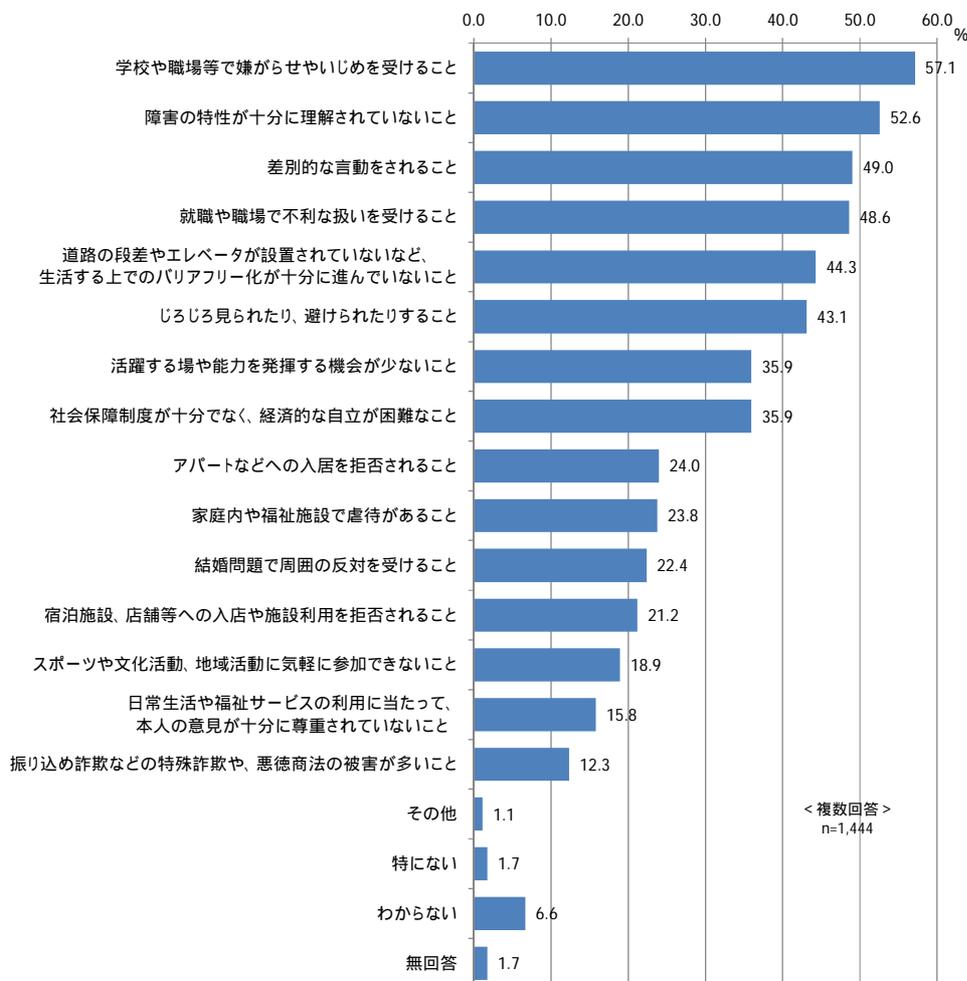
次いで4割以上の人々が挙げているのは、

「差別的な言動をされること」(49.0%)

「就職や職場で不利な扱いを受けること」(48.6%)

「道路の段差やエレベータが設置されていないなど、生活する上でのバリアフリー化が十分に進んでいないこと」(44.3%)

「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(43.1%)を挙げている。



2) 障害のある人の人権を守るために必要なこと

問 23 あなたは、障害のある人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。(は3つまで)

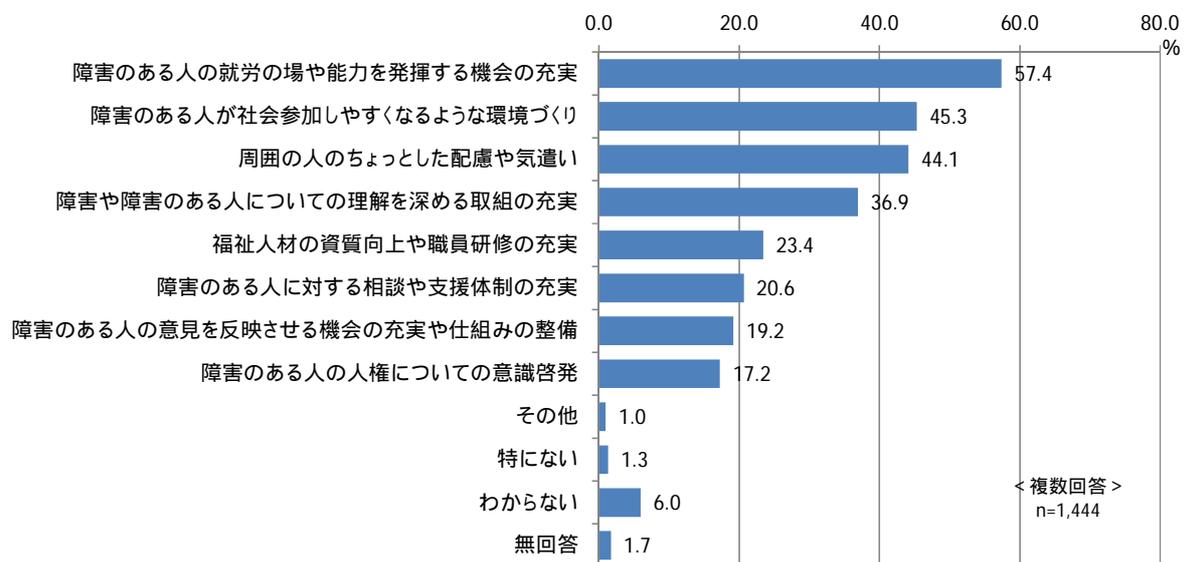
約6割の人が「障害のある人の就労の場や能力を発揮する機会の充実」(57.4%)を挙げている。

次いで、3割以上の人が挙げているのは、

「障害のある人が社会参加しやすくなるような環境づくり」(45.3%)

「周囲の人のちょっとした配慮や気遣い」(44.1%)

「障害や障害のある人についての理解を深める取組の充実」(36.9%)

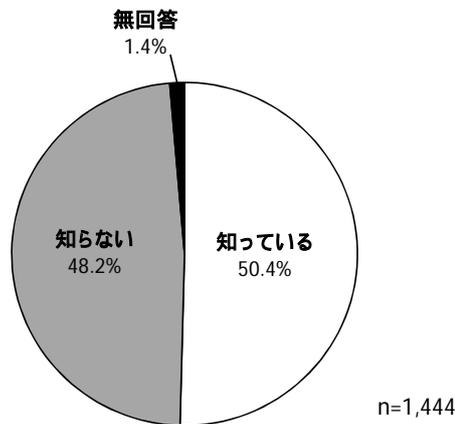


6 . 同和問題（部落差別）について

1) 同和問題（部落差別）の認知度

問 24 あなたは、同和問題を知っていますか。（ は1つ）

「知っている」（50.4%）と「知らない」（48.2%）がほぼ同率となっている。



2) 同和問題（部落差別）を知ったきっかけ

問 25 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。

（問 24 で「知っている」とお答えの方、 は1つ）

知ったきっかけの上位は、

- 「学校の授業で教わった」（19.2%）
- 「テレビ・ラジオ・雑誌・本などで知った」（17.0%）
- 「家族（祖父母、父母、きょうだい等）から聞いた」（15.8%）
- 「同和問題は知っているが、きっかけは覚えていない」（15.2%）
- 「職場の人から聞いた」（10.2%）となっている。



3) 同和問題(部落差別)に対する認識

問 26 あなたは、同和問題について、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに)

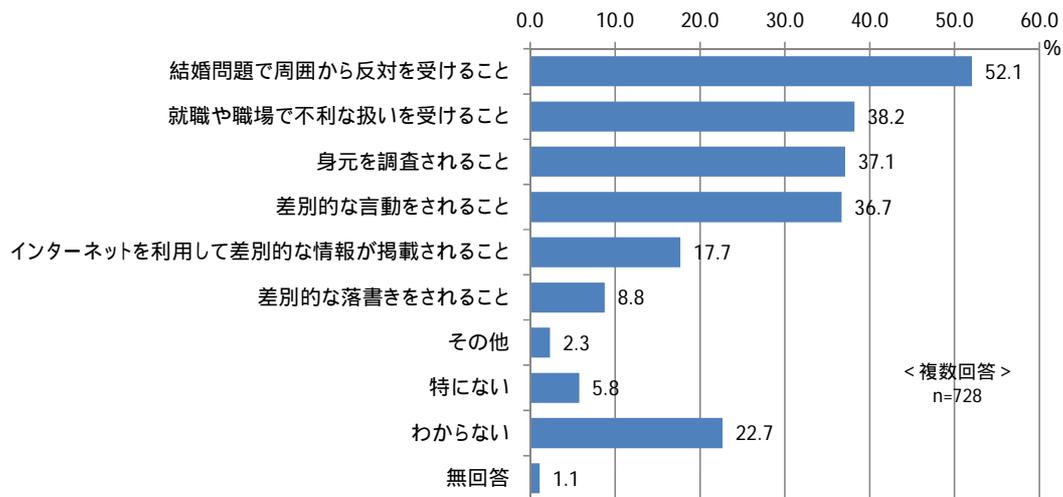
約半数の人が「結婚問題で周囲から反対を受けること」(52.1%)を挙げている。

次いで、3割以上の人が挙げているのは、

「就職や職場で不利な扱いを受けること」(38.2%)

「身元を調査されること」(37.1%)

「差別的な言動をされること」(36.7%)

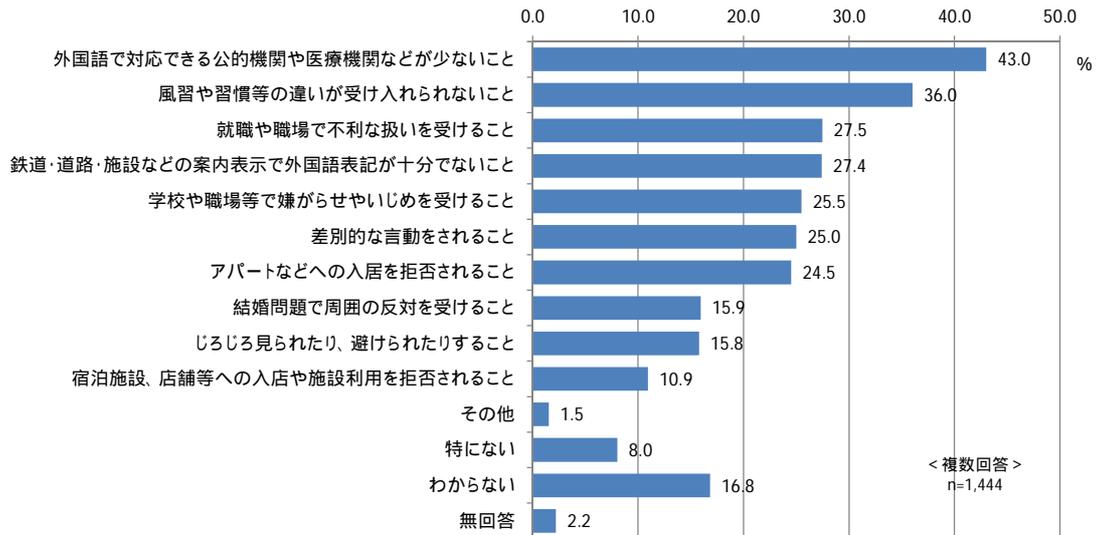


7. 外国人の人権について

1) 外国人の人権に関する問題点

問 27 あなたは、外国人の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。
(あてはまるものすべてに)

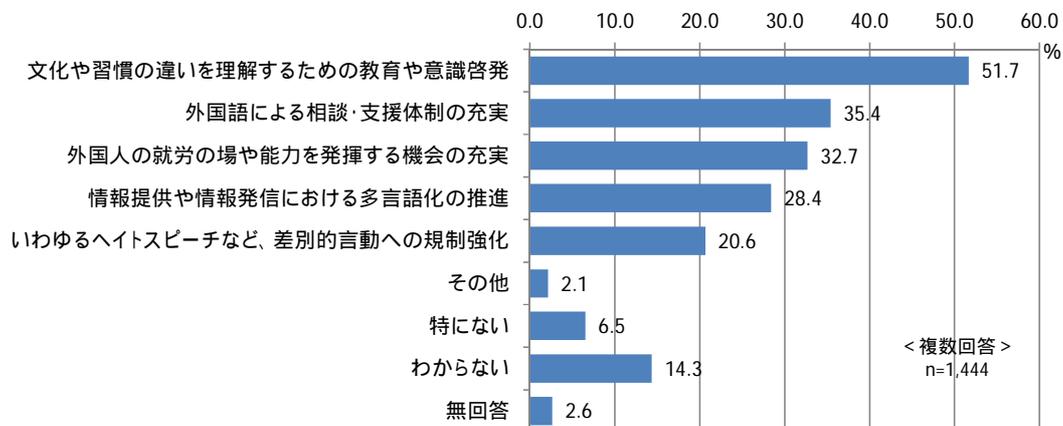
3割以上の方が、「外国語で対応できる公的機関や医療機関などが少ないこと」(43.0%)、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」(36.0%)を挙げている。



2) 外国人の人権を守るために必要なこと

問 28 あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思えますか。
(は3つまで)

約半数の人が「文化や習慣の違いを理解するための教育や意識啓発」(51.7%)を挙げている。

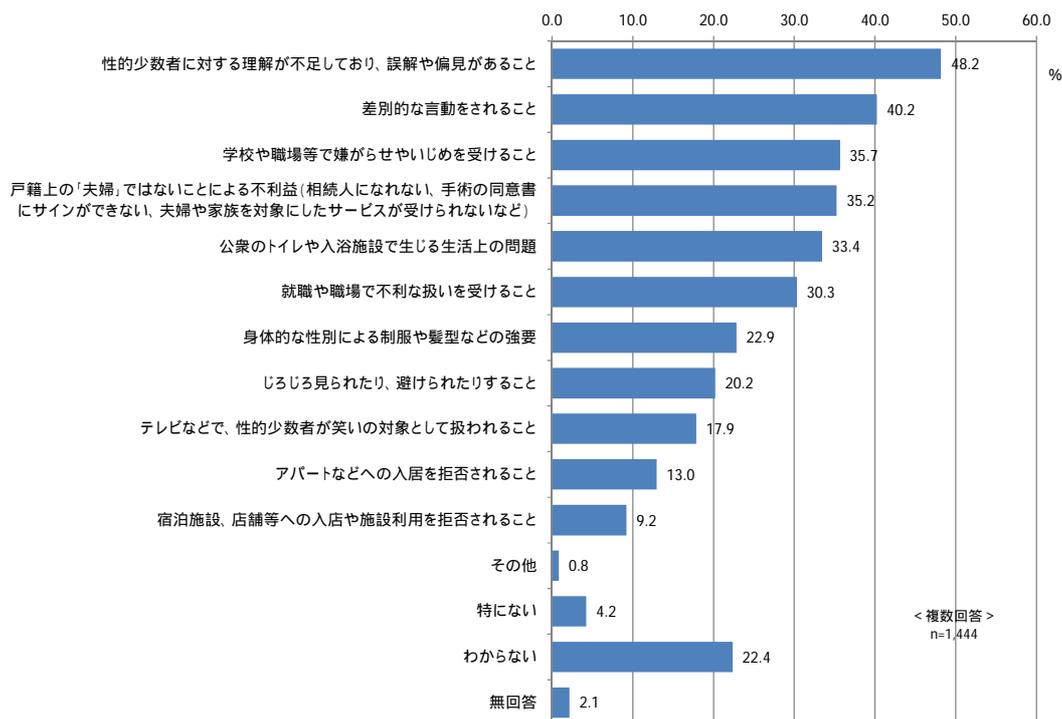


8. 性的少数者の人権について

1) 性的少数者の人権に関する問題点

問 29 あなたは、いわゆる L G B T などの性的少数者の人権に関することで、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

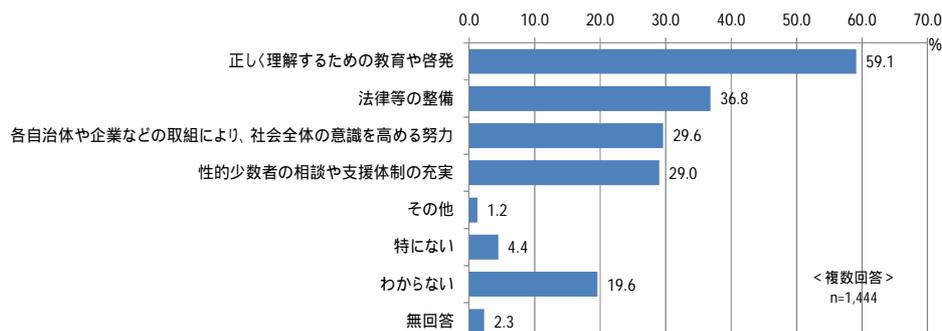
4 割以上の方が、「性的少数者に対する理解が不足しており、誤解や偏見があること」(48.2%)、「差別的な言動をされること」(40.2%)を挙げている。



2) 性的少数者の人権を守るために必要なこと

問 30 あなたは、性的少数者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思えますか。(は3つまで)

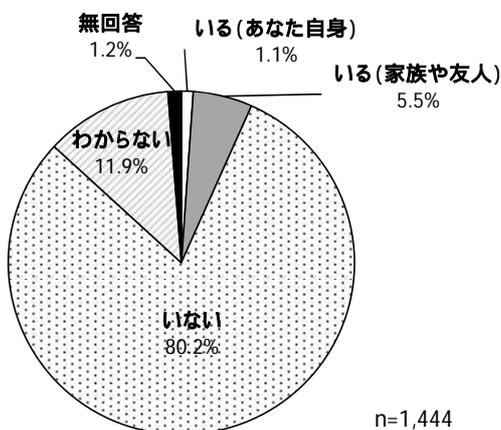
約6割の人が「正しく理解するための教育や啓発」(59.1%)を挙げている。
次いで、3割以上の方が「法律等の整備」(36.8%)を挙げている。



3) 性的少数者の存在

問 31 あなた自身、または、あなたの家族や友人にいわゆるLGBTなどの性的少数者の人はいますか。(は1つ)

性的少数者が、自身を含め、身近にいると回答した人は全体の6.6%となっている。



9. エイズ患者やHIV感染者の人権について

問 32 あなたは、エイズ患者やHIV(エイズウイルス)の感染者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

半数以上の人々が、「エイズやHIVについて、誤った認識や偏見があること」(54.2%)を挙げている。

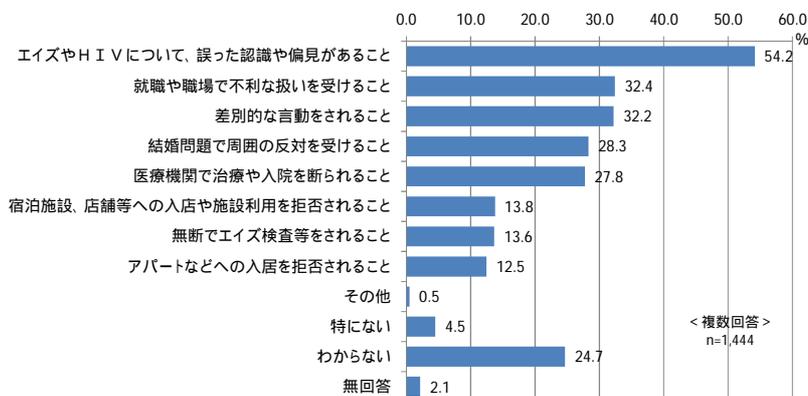
次いで約3割の人が、

「就職や職場で不利な扱いを受けること」(32.4%)

「差別的な言動をされること」(32.2%)

「結婚問題で周囲の反対を受けること」(28.3%)

「医療機関で治療や入院を断られること」(27.8%)を挙げている。



10. 働く人の人権について

問 33 あなたは、働く人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

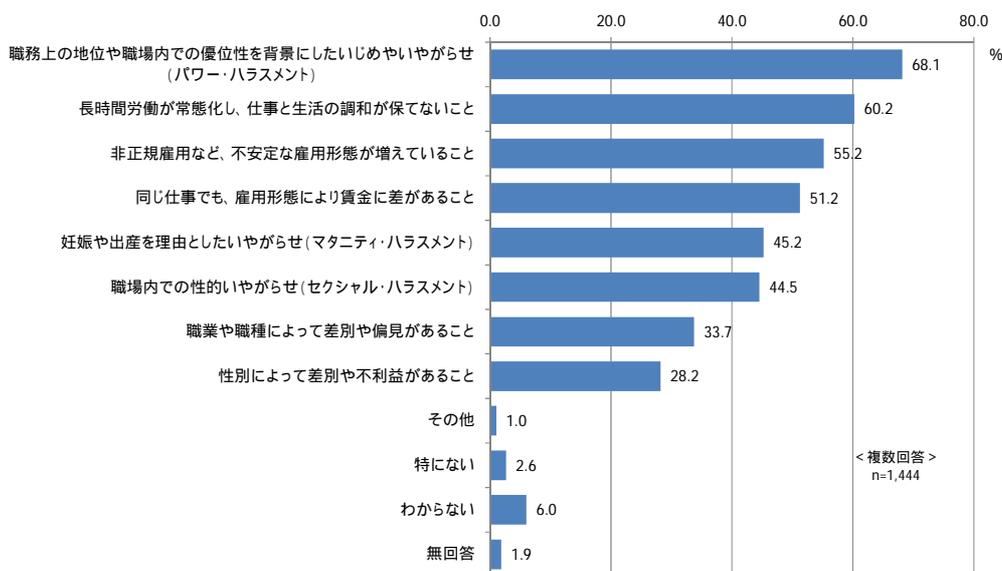
約7割の人が、「職務上の地位や職場内での優位性を背景にしたいじめやいやがらせ(パワー・ハラスメント)」(68.1%)を挙げている。

次いで5割以上の人が、

「長時間労働が常態化し、仕事と生活の調和が保てないこと」(60.2%)

「非正規雇用など、不安定な雇用形態が増えていること」(55.2%)

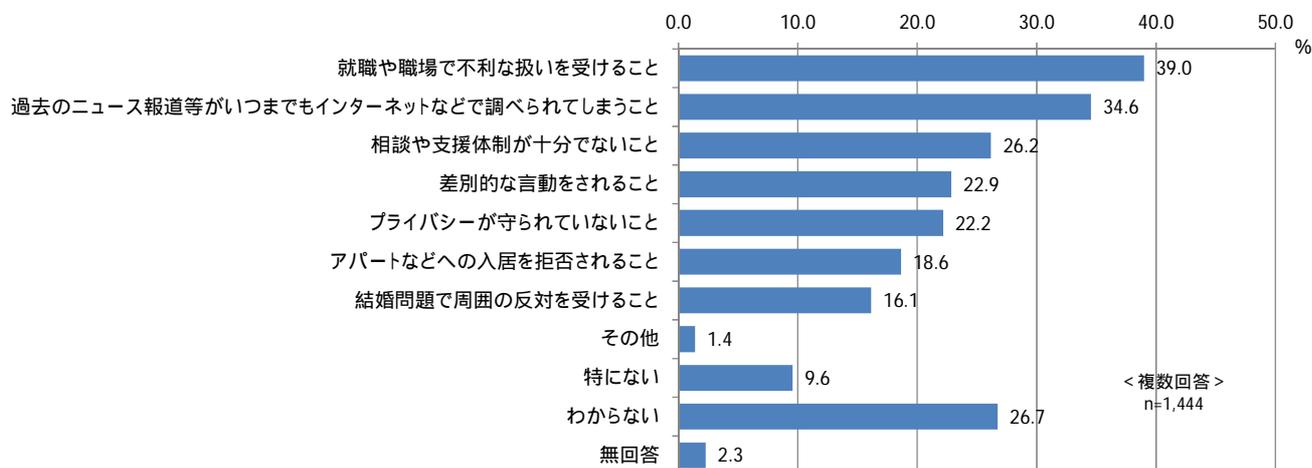
「同じ仕事でも、雇用形態により賃金に差があること」(51.2%)を挙げている。



11. 刑を終えて出所した人の人権について

問 34 あなたは、刑を終えて出所した人の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思えますか。(あてはまるものすべてに)

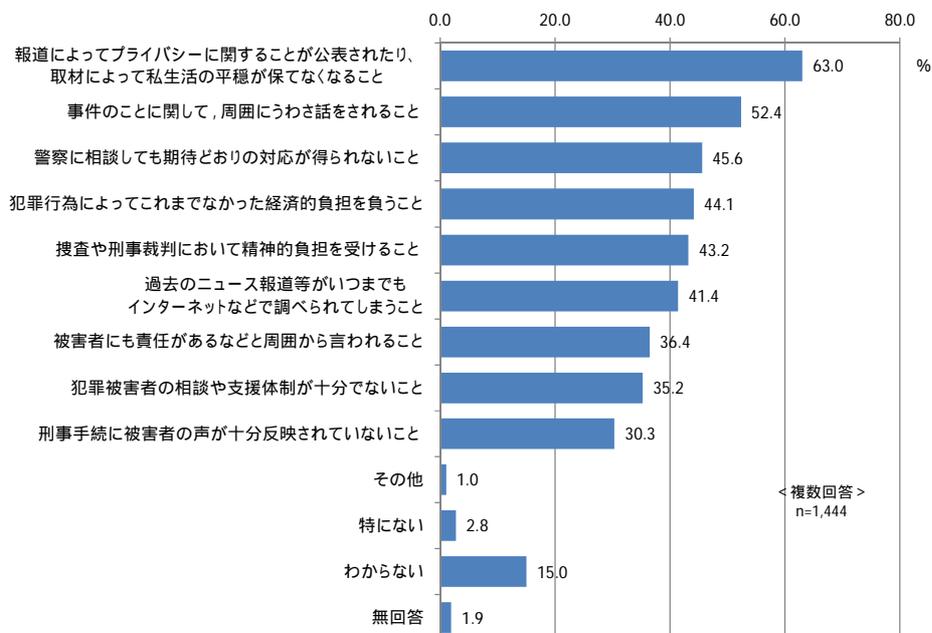
約4割の人が、「就職や職場で不利な扱いを受けること」(39.0%)を挙げている。また、3割の人が「過去のニュース報道等がいつまでもインターネットなどで調べられてしまうこと」(34.6%)を挙げている。



12. 犯罪被害者等の人権について

問 35 あなたは、犯罪被害者やその家族の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

6割の人が、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる事」(63.0%)を挙げている。

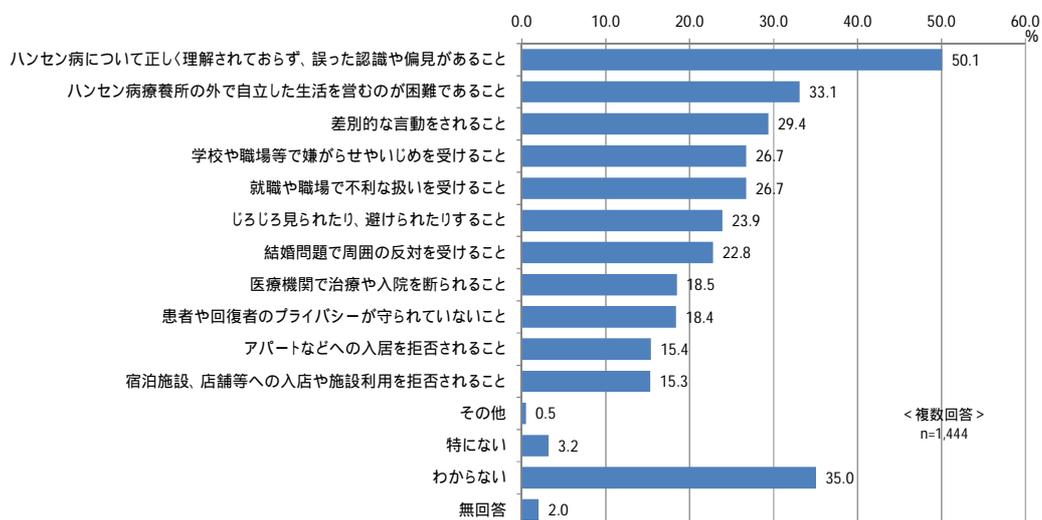


13. ハンセン病患者や回復者の人権について

問 36 あなたは、ハンセン病患者や回復者の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

半数の人が、「ハンセン病について正しく理解されておらず、誤った認識や偏見がある事」(50.1%)を挙げている。

また、「わからない」と回答した人が多かった。(35.0%)

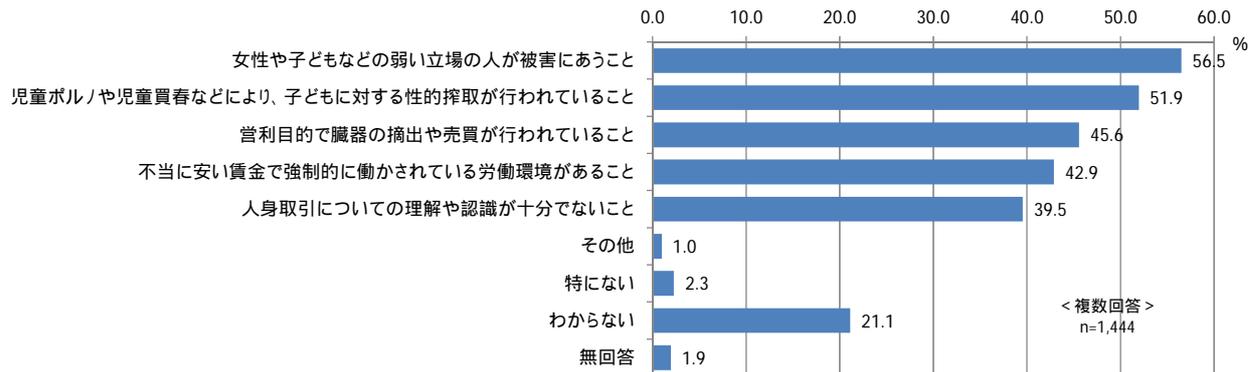


14. 人身取引に関する人権問題について

問 37 あなたは、人身取引に関することで、どのようなことが問題だと思いますか。

(あてはまるものすべてに)

半数以上の人々が、「女性や子どもなどの弱い立場の人が被害にあうこと」(56.5%)、「児童ポルノや児童買春などにより、子どもに対する性的搾取が行われていること」(51.9%)を挙げている。

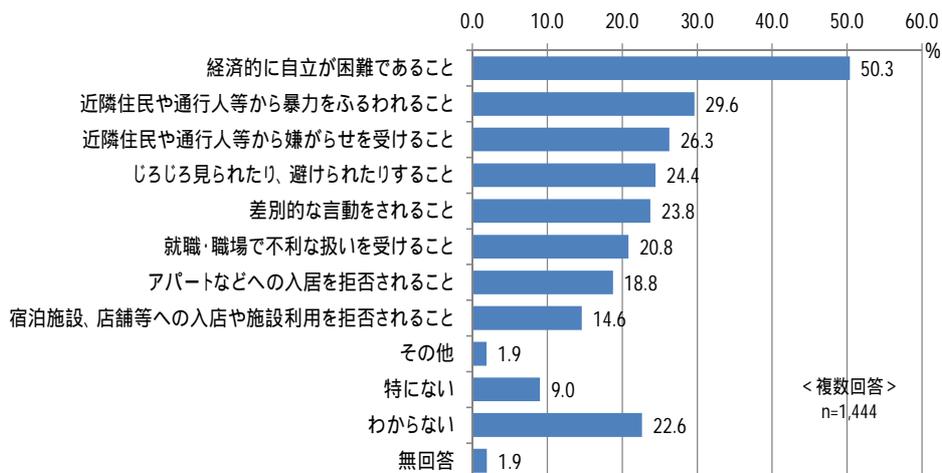


15. ホームレスの人権について

問 38 あなたは、ホームレスの人権に関することで、どのようなことが問題だと思いますか

(あてはまるものすべてに)

半数の人が、「経済的に自立が困難であること」(50.3%)を挙げている。

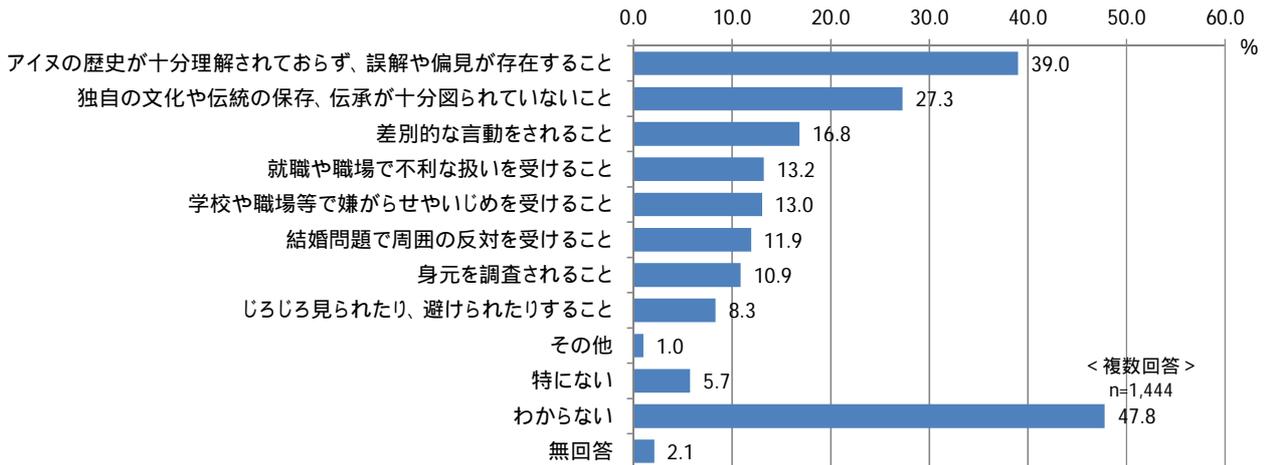


16. アイヌの人々の人権について

問 39 あなたは、アイヌの人々の人権に関する事で、どのようなことが問題だと思いますか。
(あてはまるものすべてに)

約半数(47.8%)の人が、「わからない」と回答している。

約4割の人が、「アイヌの歴史が十分理解されておらず、誤解や偏見が存在すること」(39.0%)を挙げている。また、約3割の人が「独自の文化や伝統の保存、伝承が十分図られていないこと」(27.3%)を挙げている。

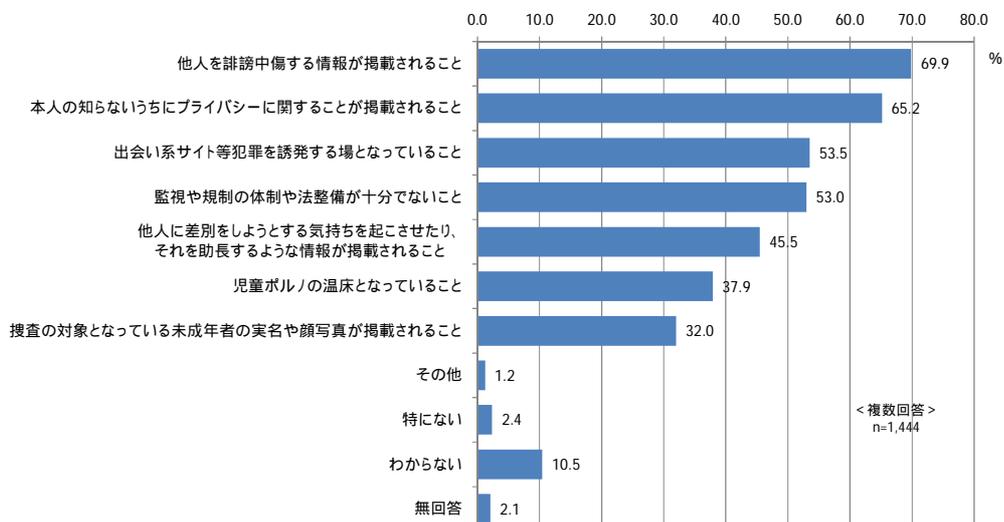


17. インターネットを利用した人権問題について

問 40 あなたは、インターネットを利用した人権問題について、どのようなことが問題だと思いますか。(あてはまるものすべてに)

約7割の人が、「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」(69.9%)、「本人の知らないうちにプライバシーに関する情報が掲載されること」(65.2%)を挙げている。

次いで、約半数の人が「出会い系サイト等犯罪を誘発する場となっていること」(53.5%)、「監視や規制の体制や法整備が十分でないこと」(53.0%)を挙げており、問題点は多岐にわたっている。



18. 災害に起因する人権問題について

問 41 あなたは、地震などの自然災害や、それに伴って発生した原子力発電所の事故により被災した方々に、どのような人権問題が起きていると思いますか。
(あてはまるものすべてに)

半数以上の人が、

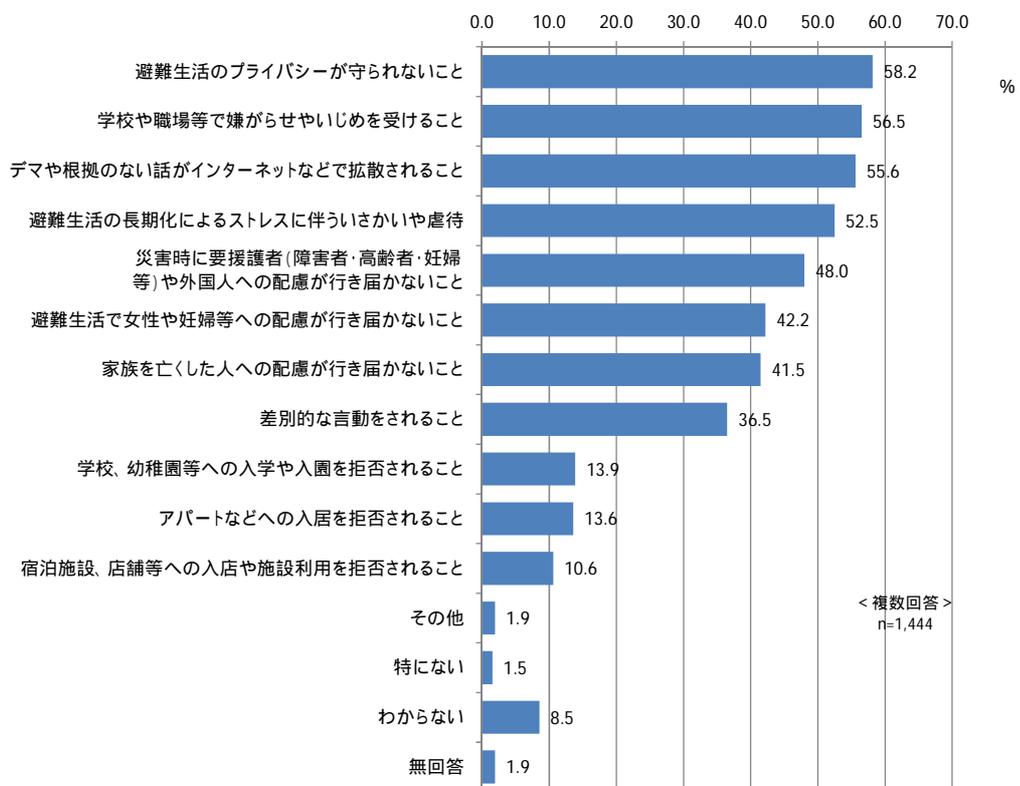
「避難生活のプライバシーが守られないこと」(58.2%)

「学校や職場等で嫌がらせやいじめを受けること」(56.5%)

「デマや根拠のない話がインターネットなどで拡散されること」(55.6%)

「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待」(52.5%)

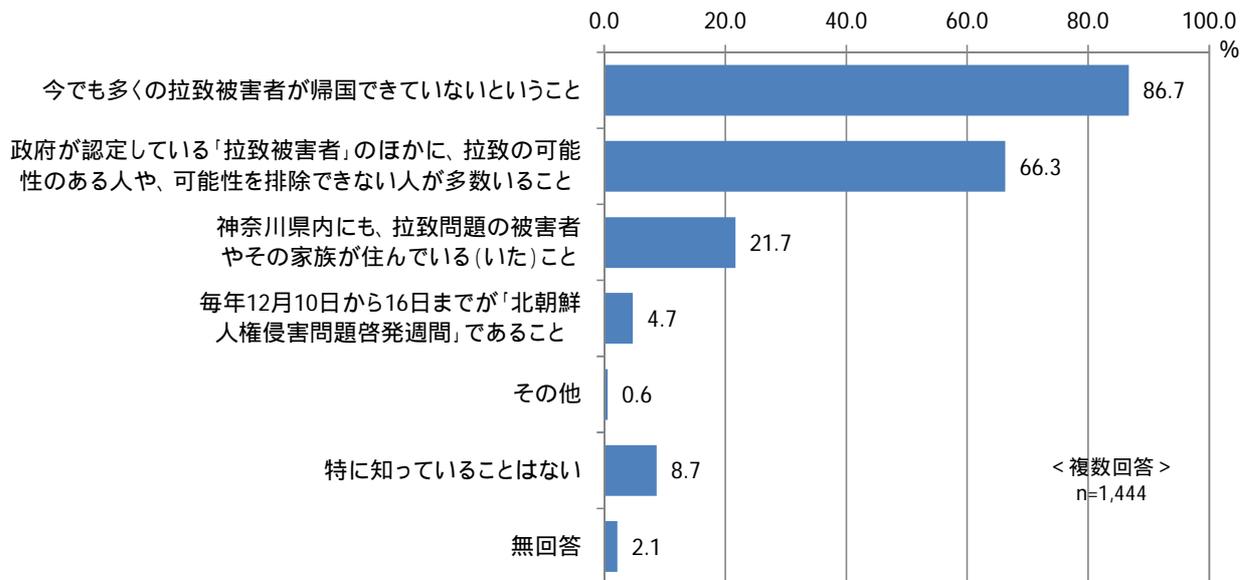
を挙げている。



19. 北朝鮮当局による拉致被害者等の人権について

問 42 北朝鮮当局による拉致問題について、あなたが知っていることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに)

約9割の人が、「今でも多くの拉致被害者が帰国できていないということ」(86.7%)を挙げている。また、約7割の人が「政府が認定している『拉致被害者』のほかに、拉致の可能性のある人や、可能性を排除できない人が多数いること」(66.3%)を挙げている。



20. 人権課題の解決に向けた方策について

1) 効果的な人権課題解決に向けた方策

問 43 あなたは、人権啓発を推進するためには、どのような方法が効果的だと思いますか。
(あてはまるものすべてに)

3割以上の方が、

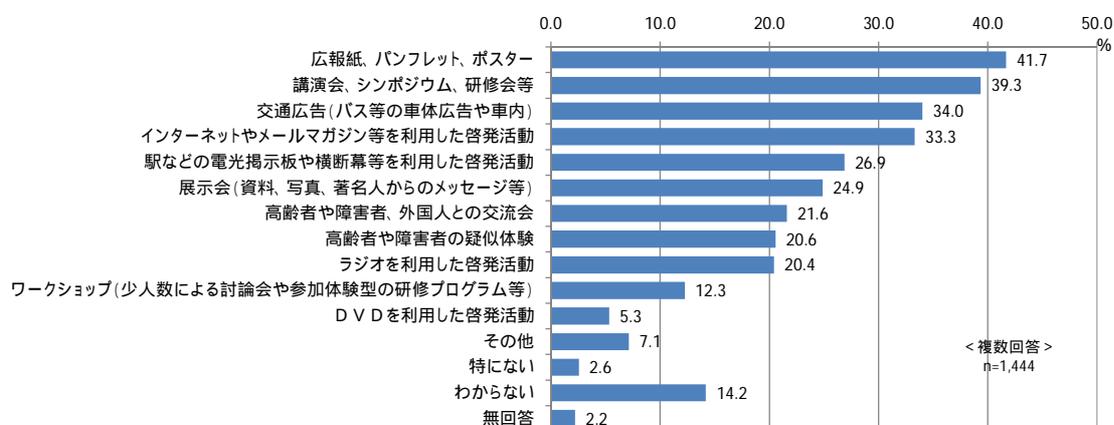
「広報紙、パンフレット、ポスター」(41.7%)

「講演会、シンポジウム、研修会等」(39.3%)

「交通広告(バス等の車体広告や車内)」(34.0%)

「インターネットやメールマガジン等を利用した啓発活動」(33.3%)

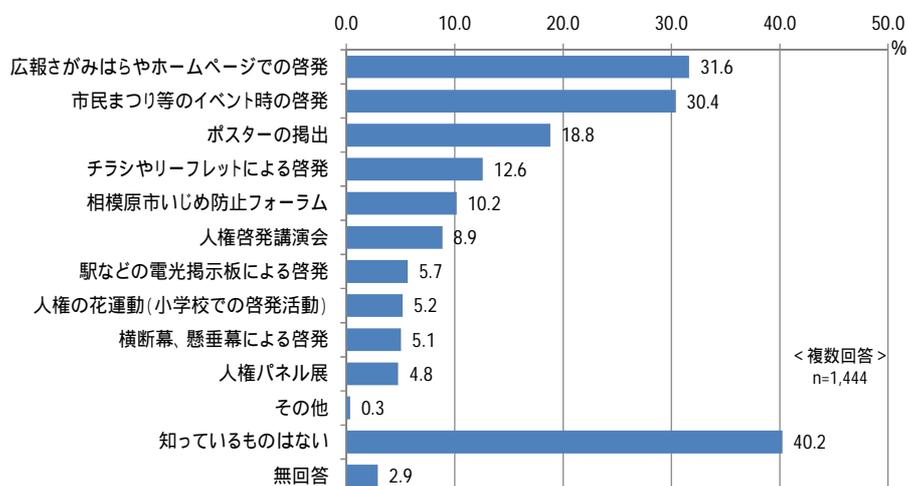
を挙げている。



2) 市の啓発事業の認知度

問 44 相模原市では、市民の皆様が人権についての理解を深めていただくため、講演会やパネル展示などの啓発事業を行っています。次のうち、あなたが知っているものはありますか。(あてはまるものすべてに)

啓発事業の認知度は、「広報さがみはらやホームページでの啓発」(31.6%)、「市民まつり等のイベント時の啓発」(30.4%)が約3割で、そのほかの事業の認知度は低い。



3) 今後市が力を入れていけばよいこと

問 45 あなたは、人権問題や人権課題の解決に向けて、相模原市は今後どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(は3つまで)

約6割の人が「学校での人権教育を充実させる」(59.7%)、「子どもの頃から思いやりの心を育むため、家庭や地域での人権教育を支援する」(56.0%)を挙げている。



4) 人権が尊重される社会の実現に向けて必要なこと

問 46 あなたは、一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまでお選びください。(は3つまで)

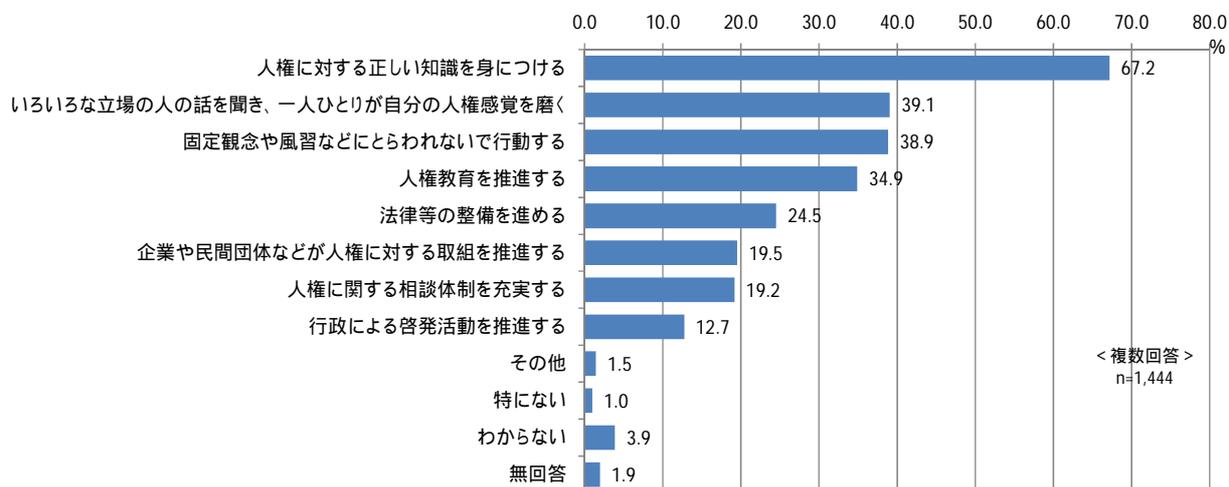
約7割の人が「人権に対する正しい知識を身につける」(67.2%)を挙げている。

次いで、3割以上の人が、

「いろいろな立場の人の話を聞き、一人ひとりが自分の人権感覚を磨く」(39.1%)

「固定観念や風習などにとらわれなくて行動する」(38.9%)

「人権教育を推進する」(34.9%)を挙げている。



人権に関する市民意識調査報告書(概要版)

平成29年3月発行

編集・発行 相模原市 市民局 人権・男女共同参画課

相模原市中央区中央2-11-15

電話 042(769)8205 FAX 042(753)9413

E-mail jinkendanjo@city.sagamihara.kanagawa.jp